

Ⅲ 地域保健課の業務概要

地域保健課は、母子保健、成人・老人保健、精神保健福祉、一人ひとりに応じた健康支援、栄養改善、健康づくり等広域的・専門的な事業を、管内両市をはじめ保健・医療・福祉等関係機関と連携を図りながら実施している。

1 保健師関係指導事業

保健師活動報告として、保健所及び管内市等の活動状況及び就業状況を把握し、保健師等の研修及び現任教育に関することとして、所内保健師研究会、管内保健師業務連絡研究会、保健所保健師ブロック研修会等を実施している。

また、日ごろの保健活動の実績、評価、課題をまとめ、保健師の資質向上、地域の保健福祉活動の改善を図っている。

(1) 管内概況

当管内の保健師就業数は、健康福祉センター15人、市川市72人、浦安市32人である。

健康福祉センター保健師は、3課（総務企画課、地域保健課、疾病対策課）に配置されて活動し、両市とは業務を分担している。

表1－(1) 管内保健師就業状況（各年4月1日現在）

(単位：人)

区 分 年 度	総数	保健所	市 町 村			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
平成 29 年度	117	15	67	27	2	6
平成 30 年度	117	13	69	22	6	7
令和元年度	119	15	70	19	9	6
市 川 市	72	-	49	19	0	4
浦 安 市	32	-	21	0	9	2

(2) 保健所保健師活動

保健師は総務企画課、地域保健課及び疾病対策課に配属され、所属内の他職種をはじめ、管内市や関係機関と連携を図りながら広域的及び専門的な各種保健指導業務を実施している。

また、保健活動の推進のため、管内市保健師等、保健従事者の活動状況や就労状況の把握につとめ研修会等をとおして現任教育に取り組んでいる。

表1－(2) 家庭訪問等個別指導状況 (令和2年3月31日現在)

(単位：件)

区 分 種 別	家庭訪問		訪 問 以 外 の 保 健 指 導				個別の連携 ・連絡調整
	実数	延数	面 接		電 話	メー ル	
			実数	延数	延数	延数	延数
総 数	249	267	956	1,121	8,502	7,422	2,386
感 染 症	195	196	221	221	6,422	7,417	2,034
結 核	14	24	425	536	1,376	3	274
精 神 障 害	0	0	0	0	10	0	0
長 期 療 養 児	17	19	99	149	113	0	57
難 病	23	28	31	35	91	2	19
生 活 習 慣 病	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 の 疾 病	0	0	1	1	50	0	0
妊 産 婦	-	-	1	1	-	-	0
低 出 生 体 重 児 (未 熟 児)	-	-	-	-	-	-	0
乳 幼 児	-	-	1	1	-	-	0
そ の 他	-	-	177	177	440	0	2
訪 問 延 世 帯 数	176	184					

(3) 保健師関係研修（研究）会実施状況

ア 管内保健師業務連絡研究会

表1－(3)－ア 管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催年月日	テーマ	主な内容	参加人員
令和元年5月31日	計画策定	講演「ロジックモデルを活用した 計画策定について」 講師 国際医療福祉大学大学院 教授 埴岡健一 氏	36人
令和元年9月6日	計画策定及 び事業評価	講演およびワーク 「施策体系の整理と、それにつながる事業計画の評価 の考え方」 講師 順天堂大学医療看護学部 准教授 原田 静香 氏	37人
令和元年11月8日	業務研究及 び事業評価	講演 千葉県保健活動業務研究提出にむけた助言、 意見交換 講師・助言 千葉県立保健医療大学 准教授 雨宮 有子 氏	31人

イ 所内保健師研究会

表1－(3)－イ 所内保健師研究会実施状況

開催年月日	主な内容	参加人員
令和元年5月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・各課業務紹介と重点的取組紹介 ・次回以降の内容について ・今年度の保健師活動業務研究発表について（疾病対策課） ・令和元年度当保健所における新任期現任教育について 	14人
令和元年9月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・地区診断 地区情報の共有 平成26年度の地区情報の更新 	9人
令和元年12月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師活動業務研究の報告（疾病対策課） 抄録提出後の報告 ・台風19号における保健師活動振り返りについて 	11人
令和2年2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度開催計画(案)について ・保健師中堅前期研修報告 	6人

ウ 保健所保健師ブロック研修会

当健康福祉センターは、東葛ブロック（習志野・松戸・野田健康福祉センター）に所属し、毎年共同で実施している。今年度については、当健康福祉センターが主体で開催した。

表1－（3）－ウ 保健所保健師ブロック研修会実施状況

開催年月日	主な内容	参加人員
令和2年2月3日	講演1 「人工呼吸器等と災害対策について」 講師 (株)フィリップス・ジャパン 中原彰太 氏 帝人在宅医療株式会社 高松法子 氏 講演2 「災害時保健活動の実働」 講師 千葉県市川健康福祉センター 副センター長 福田浩子 氏	13人

2 母子保健事業

母子保健推進協議会や母子保健関係研修会等を通して、管内の母子保健の推進を図っている。

また、特定不妊治療費助成事業、小児慢性特定疾病医療費助成制度事業等の医療費助成制度の窓口を担当している。

(1) 母子保健推進協議会

管内の母子保健事業が効果的に推進できるよう行政機関・医師会・医療機関等の代表者から構成される協議会で母子保健事業に関することを協議した。

表2－（1） 母子保健推進協議会実施状況

開催年月日	委員数	主な協議内容
令和2年2月28日	15人	(1) 母子保健の現状と課題について (2) 産後ケアについて (3) 母子保健における災害対策について (4) 市川健康福祉センターの母子保健事業に関する意見、要望等について ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により紙面開催とし、各委員へ資料を送付して意見を募った。

(2) 産後ケア連絡調整会議

産後ケア事業等にかかわる関係機関と市町村間の連携体制の構築や情報共有を図ること等により、市町村が産後ケア事業等を実施するための体制整備を推進することを目的として開催した。

表2- (2) 産後ケア連絡調整会議実施状況

開 催 年 月 日	職種・参加人数	主 な 協 議 内 容
令和元年 5月21日	保健師 10人	産後ケア事業等の実施状況と課題検討について
(再掲) 令和2年 2月28日	(再掲) 医師、看護師、助産師、 保健推進員、行政関係者等 15人	母子保健推進協議会と合同開催

(3) 母子保健関係研修会

母子保健活動において健康福祉センターと市が情報共有し、よりよい母子保健サービスの提供を目指すための母子保健連絡会と、母子保健推進員等の資質向上を図るための母子保健推進員研修会を開催した。

表2- (3) 母子保健関係研修会実施状況

研 修 会 の 名 称	開 催 年 月 日	職種・参加人数	内 容
母子保健連絡会	令和元年 5月21日	市川市保健師 2人 浦安市保健師 3人 保健所保健師 5人	(1) 母子保健事業の実績・計画について (2) 妊娠・出産包括支援事業の概要について (3) 特定不妊治療助成制度について (4) 母子保健推進協議会について
(再掲) 母子保健 従事者研修	令和元年 8月9日	(再掲) 学校関係者、 管理栄養士、栄養士、 保健師助産師、医師 21人	思春期講演会と同時開催
母子保健従事者 研修	令和元年 11月28日	保健推進員、保健師、 助産師 33人	講演 「災害時の母子支援～地域としてできること～」 講師 千葉県助産師会 市川・浦安地区 災害対策委員長 塩見 良子氏

(4) 人工妊娠中絶届出

母体保護法第25条により医師から届出がなされた人工妊娠中絶実施報告書に基づき、妊娠週数別年齢別に届出数を記載した。ただし、届出数は管外分も含まれる。20歳未満の人工妊娠中絶は23件(6.3%)であった。

表2-(4) 人工妊娠中絶届出状況

(単位:人)

区分 妊娠週数	平成29年度	平成30年度	令和元年度									
			総数	20歳未満	20歳24	20歳29	25歳34	30歳39	35歳44	40歳49	45歳以上	不詳
総数	391	411	365	23	68	65	69	88	47	5	0	0
満7週以前	206	199	192	13	36	27	39	41	33	3	0	0
満8週～満11週	158	164	138	6	30	31	24	35	11	1	0	0
満12週～満15週	6	16	9	3	0	2	2	2	0	0	0	0
満16週～満19週	14	16	11	0	1	2	2	3	2	1	0	0
満20週～満21週	7	16	15	1	1	3	2	7	1	0	0	0
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 特定不妊治療費助成事業

平成17年1月1日から、千葉県特定不妊治療費助成事業実施要綱に基づき特定不妊治療(体外受精及び顕微授精、男性不妊治療)を実施した場合、費用の一部を助成している。

ア 特定不妊治療費助成制度事業

表2-(5)-ア 特定不妊治療費助成実施状況

(単位:件)

年度・市町村	件数		延件数内訳			
	実件数	延件数	体外受精	顕微授精	男性不妊	その他
平成29年度	492	854	141	345	1(1)	367
平成30年度	544	918	157	351	3(4)	407
令和元年度	597	1014	175	375	5(4)	459
市川市	452	753	※男性不妊の件数は男性不妊治療単独の助成件数であり、()内の数値は、特定不妊治療を伴う男性不妊治療の助成件数である。			
浦安市	145	261				

イ 不妊専門相談センター事業

表2－(5)－イ－(ア) 不妊相談実施状況

年度	回数	相談者数(専門医)	相談者数(保健師等)	
			随時	—
実施無し	—	—	随時	—

表2－(5)－イ－(イ) 不妊講演会実施状況

開催年月日	内 容	対 象	参加者数
実施無し	—	—	—

(6) 小児慢性特定疾病医療費助成制度事業

慢性疾患にかかっていることにより長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成を図るため、当該疾患の治療方法に関する研究等に資する医療の給付を行っている。

表2－(6) 小児慢性特定疾病医療費助成制度受給者状況(各年3月31日現在)

(単位:件)

疾 患 名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度市別内訳	
				市 川 市	浦 安 市
総 数	475	493	466	338	128
1 悪性新生物	66	64	63	48	15
2 慢性腎疾患	40	42	35	29	6
3 慢性呼吸器疾患	16	18	20	13	7
4 慢性心疾患	106	104	91	69	22
5 内分泌疾患	111	108	99	67	32
6 膠原病	13	16	20	13	7
7 糖尿病	26	24	25	14	11
8 先天性代謝異常	9	8	10	6	4
9 血液疾患	20	20	18	11	7
10 免疫疾患	6	7	5	4	1
11 神経・筋疾患	28	33	38	31	7
12 慢性消化器疾患	29	31	26	22	4
13 染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	4	8	7	5	2
14 皮膚疾患	1	1	1	—	1
15 骨系統疾患	—	7	6	4	2
16 脈管系疾患	—	2	2	2	—

(7) 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業

児童福祉法第19条の22に基づき、慢性的な疾患にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、関係機関との連絡調整等を行う。

表2- (7) 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業

名 称	実施年月日	参加人数・内訳	内 容
就労支援に関する講演会	令和元年 11月15日	小児慢性特定疾患 受給者の保護者、他 保健所保健師 5名	講演会 「小児慢性・指定難病受給者さんへの就労支援 ～私らしく働こう～」 講師 千葉公共職業安定所 難病患者就職サポーター 芦沢 久恵 氏

(8) 療育の給付制度

療育医療（児童福祉法第21条の9）は、結核で長期療養を必要とする児童を病院（指定療育機関）に入院させ適正な医療を行い、医療給付を行うとともに学校教育を受けさせ、これに必要な学用品を支給し、かつ療養生活指導を行い必要に応じて日用品の支給を行うものである。令和元年度の申請者はなかった。

(9) 思春期保健相談事業

平成26年度に実施した「学校保健における健康課題と取組に関するアンケート」結果をもとに、平成27年度には、管内県立高校養護教諭と共同で、「思春期の心と体、コミュニケーションの取り方」についての健康教育教材を作成し、共同作成をした養護教諭が勤務する高校にて、平成27年、28年度と同様に作成した教材を用いて、健康教育を実施した。平成30年度は、健康教育教材紹介をした。また、平成29年度に平成26年度に実施した「学校保健における健康課題と取組に関するアンケート」と同様のアンケート調査を実施した。その中で課題として挙げられた「摂食障害」に関しての講演会を平成30年度に開催した。「摂食障害」について各論が聞きたいというご意見を多数いただいたため、令和元年度は「摂食障害」の各論について実施した。

表2- (9) -ア 思春期保健関係者会議実施状況

名 称	開 催 年 月 日	参加者数・職種	内 容
実施無し	—	—	—

表2－(9)－イ 思春期保健事業講演会

名 称	開 催 年 月 日	対象者・参加者数	内 容
思春期保健事業 講演会	令和元年8月9日	学校関係者、管理 栄養士、栄養士、 保健師助産師、医 師 21人	講演会 「摂食障害（過食症、拒食症） より具体的な支援」 講師 国立国際医療センター国府台病院心療内科診 療科長/千葉県摂食障害治療支援センター長 河合啓介氏

(10) 旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等について

平成31年4月24日に成立された「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」に基づき、昭和23年9月11日～平成8年9月25日までの間に旧優生保護法に基づく優生手術等を受け、法案成立日の平成31年4月24日に生存されている方に対して、法案成立日から5年間、当該申請を行った方に対し旧優生保護法一時金を支給するものである。令和元年度は相談、申請共に0件であった。

表－(10) 管内居住者からの相談及び請求受付件数（センター受付分）

区分 年度	請求受付件数	相談件数（延べ）		
		電話等相談	来所相談	計
令和元年度	0件	0件	0件	0件

※一時金の支給に関する相談及び請求は健康福祉部児童家庭課でも居住地に関わらず受け付けている。

3 成人・老人保健事業

健康増進法による健康増進事業は、①健康手帳の交付②健康教育③健康相談④健康診査⑤機能訓練⑥訪問指導の6事業があり、市町村が主体となり市川市及び浦安市が実施している。保健所は市町村のがん検診受診率向上のための支援として、がん検診推進員の育成をしている。

(1) 介護サービス施設・事業所設置状況

管内には、介護老人保健施設 10 施設・訪問看護ステーション 28 施設がある。(地域資料編に記載のとおり)

ア 介護老人保健施設実地指導

千葉県老人保健施設実地指導要綱に基づき、習志野健康福祉センター監査指導課と合同で、2 施設について実地指導を行った。

表3- (1) -ア 介護老人保健施設実地指導状況

実施年月日	介護老人保健施設
令和元年10月21日	葵の園・市川
令和元年10月31日	つばさくらぶ

(2) がん検診推進員育成講習会

各市町村の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等(以下「推進員等」という。)に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を図る。

ブロック毎に 隔年で実施しており、令和元年度は、習志野健康福祉センターが実施した。

表3- (2) がん検診推進員育成講習会

開催年月日	参加者数	内容
—	—	—

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて、一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じた確かな自己管理ができるよう支援することを目的とし、性別やライフステージに応じた健康教育と、電話相談を実施した。

(1) 健康教育事業

千葉県アルコール健康障害対策推進計画が策定されたことを受け、「アルコールの適正飲酒」について、リーフレットを作成し、地域職域連携推進事業における健康教育の機会を利用し、啓発を行った。

表4－(1) 健康教育事業

開催年月日	健康教室	参加人員
令和元年12月26日	節度ある適度な飲酒量の普及	7人

(2) 健康相談事業

身体的、精神的な悩みを有する思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象とし、保健師による電話相談を実施した。

表4－(2) 健康相談実施状況(電話)

(単位：件)

年度	区分	男	女	総数
	平成29年度		8	27
平成30年度		3	12	15
令和元年度		6	13	19

5 総合的な自殺対策推進事業

地域自殺実態プロファイルより、各市の自殺対策協議会をとおして、両市と連携するとともに、精神保健福祉相談において心の健康づくりの推進に努め、他にパンフレットの配布やホームページを活用し、相談機関の普及啓発等を行っている。

6 地域・職域連携推進事業

管内の地域保健と職域保健が連携し、生活習慣病の予防と健康寿命の延伸を図るために、行政機関、事業所及び医療保険者等の関係者が相互の情報交換を行い、保健医療資源の相互活用、又は保健事業の共同実施等により、地域特性に応じた継続的な健康管理が可能となるよう取り組んでいる。地域・職域連携推進協議会は年1回、作業部会は年2回開催した。協議会は、医師会・歯科医師会・薬剤師会・商工会議所・労働基準監督署・職域保健関係・地域保健関係から構成されている。

表6－(1) 市川浦安 地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
令和2年1月29日	23人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業実績報告及び評価について ア 事業所の喫煙対策支援事業 イ 風疹ワクチン接種推進事業 ・令和2年度事業計画(案)について

表6－(2) 市川浦安 地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
令和元年6月21日	9人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業について ア 事業所の喫煙対策支援事業について イ 風疹ワクチン接種推進事業について
令和元年12月24日	9人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業実施結果及び評価について ・令和2年度事業テーマについて

表6－(3) 共同事業開催状況

開催年月日	主な内容
令和元年6月5日、24日	<ul style="list-style-type: none"> ・風しん抗体検査及びワクチン接種に関する啓発と実態調査 参加人数 2回 計204名
令和元年9月6日、20日	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業所のたばこ対策事例集」を活用した啓発と実態調査 参加人数 2回 計213名(他7回啓発事業実施)

7 栄養改善事業

特定健診の結果によると、メタボリックシンドロームの予備群又は該当者が、男性で市川市49.5%、浦安市49.7%、女性では市川市16.5%、浦安市13.8%である。県平均の男性46.8%、女性15.6%と比べると浦安市の女性を除き高い割合となっている（平成29年度特定健診・特定保健指導のデータ分析結果より）。

生活習慣病予防に関しては、健康づくり支援課のモデル事業に協力し、管内商業施設において「ふやそう野菜 へらそう塩」をテーマとする食育イベントに参加した。管内の栄養士から募集した「野菜きのこ海藻を使った時短レシピ集」を配布し、子育て世代を主な対象に、野菜摂取促進の啓発を実施した。

特定給食施設等に対しては、健康増進法に基づく栄養管理が実施されるよう、研修会の開催及び個別巡回指導等を通じた指導を行った。

(1) 健康増進（栄養・運動等）事業

広域的又は専門的な知識及び技術を必要とする栄養指導や病態に応じたQOL向上のための栄養指導などを実施した。

表7－（1）健康増進（栄養・運動等）指導状況

（単位：人）

		個別指導延人員								集団指導延人員						
		栄養指導	(再掲)病態別栄養指導	(再掲)訪問による栄養指導	運動指導	(再掲)病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他	栄養指導	(再掲)病態別栄養指導	運動指導	(再掲)病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他
実施数	妊産婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	乳幼児	-	-	-	/	/	/	/	-	-	-	/	/	/	/	-
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児を除く)	5	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
	20歳以上 (妊産婦を除く)	38	1	-	-	-	-	-	-	17	17	-	-	-	364	-
(再掲)医療機関等へ委託	妊産婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	乳幼児	-	-	-	/	/	/	/	-	-	-	/	/	/	/	-
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児を除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳以上 (妊産婦を除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

参照（地域保健・健康増進事業報告作成要領）

ア 病態別個別指導

表7- (1) -ア 病態別個別指導状況

(単位：人)

種別	区分	計	生活習慣病	難病	アレルギー疾患	摂食障害	その他
病態別栄養指導		1	-	-	-	-	1
病態別運動指導		-	-	-	-	-	-

※生活習慣病は、がん・高血圧・心臓病・高脂血症・糖尿病・肥満・貧血に関する指導をした場合に計上する。

イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

表7- (1) -イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
潰瘍性大腸炎の方のための医療講演会	令和2年 2月8日	潰瘍性大腸炎の患者及び家族等	18	講演「潰瘍性大腸炎患者のためのQOLを向上させる食事」 講師 東京医科歯科大学医学部附属病院 臨床栄養部 副部長 斎藤恵子氏

ウ 地域における健康づくり推進事業

表7- (1) -ウ 地域における健康づくり推進事業実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
飲食店関係者に対する「ふやそう野菜！へらそう塩！」の啓発	令和元年 6月12日から 7月4日の うち5日間	管内飲食店の管理者及び従事者	1,394	講習会資料に1日の野菜及び食塩の摂取目標量に関する記事を掲載
管内栄養関係事業担当者業務連絡会	令和元年 6月10日	管内行政栄養士	6	情報共有と業務検討 ①保健統計から見える管内の健康課題 ②主食・主菜・副菜を揃えた食事を促す効果的な啓発について 他
ヘルシーメニューを活用した“選ばれのお店づくり”セミナー	令和2年 3月24日	中食事業者、健康ちば協力店店主、事業所給食施設関係者等	開催中止	講演「ヘルシーメニューでお客様もお店も元気に！」 講師 (株)食STORY 代表取締役 米倉れい子氏

エ 国民（県民）健康・栄養調査

表7－（1）－エ 国民（県民）健康・栄養調査状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日・調査内容等
国民健康・栄養調査	市川市 中国分地区 13世帯25人	栄養摂取状況調査・生活習慣調査： 令和元年11月の任意の日 身体状況調査： 中国分地区：令和元年11月11日 行徳駅前地区：令和元年11月6日 調査内容 ・栄養摂取状況調査（満1歳以上） 世帯状況と世帯員個人の食事状況 ・生活習慣調査（満20歳以上） ・身体状況調査 身長、体重（満1歳以上） 腹囲、血圧、血液検査、問診（満20歳以上） 歩数計による1日の運動量（満20歳以上）
	市川市 行徳駅前地区 7世帯13人	

オ 特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表7- (1) -オ- (ア) 食品に関する表示相談・普及啓発実施状況

		業者への相談対応・普及啓発				
		相談 (個別)		普及啓発 (集団)		
		実相談食品数	延相談件数	回数	延対象者数	内容 (講習会等)
特別用途食品及び特定保健用食品について		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	-
食品表示基準に ついて (保健事項)	栄養成分	51	64	5	1,394	食品衛生講習会
	特定保健用食品	-	-	-	-	-
	栄養機能食品	-	-	-	-	-
	機能性表示食品	-	-	-	-	-
	その他※	-	-	-	-	-
健康増進法第31条第1項 (虚偽誇大広告)		6	7	-	-	-
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		-	-	-	-	-
		県民への相談対応・普及啓発				
		相談 (個別)		普及啓発 (集団)		
		延相談件数	回数	延対象者数	内容 (講習会等)	
特別用途食品及び特定保健用食品について		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	-
食品表示基準に ついて (保健事項)	栄養成分	-	-	-	-	-
	特定保健用食品	-	-	-	-	-
	栄養機能食品	-	-	-	-	-
	機能性表示食品	-	-	-	-	-
	その他※	-	-	-	-	-
健康増進法第31条第1項 (虚偽誇大広告)		-	-	-	-	-
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		-	-	-	-	-

() 内は、特定保健用食品再掲

※ 栄養成分以外の内容だった場合(特保、栄養機能食品、機能性表示食品は除く)

表7- (1) -オ- (イ) 食品表示等に関する指導状況 (表示違反への対応)

		指導状況 (個別)	
		実指導食品数	延指導件数
食品表示基準に ついて (保健事項)	栄養成分※	1 (-)	1 (-)
	機能性表示食品	-	-
	その他	-	-
健康増進法第31条第1項 (虚偽誇大広告)		-	-
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		-	-

※ 栄養機能食品、特定保健用食品を含む () 内は、栄養機能食品、特定保健用食品再掲

表7- (1) -オ- (ウ) 特別用途食品許可取り扱い件数 (単位: 件)

内 容	取扱件数
新規許可申請受付	- (-)
消滅事由該当届出数	- (-)
申請・表示事項変更届出数	- (-)

() 内は、特定保健用食品再掲

表7- (1) -オ- (エ) 特別用途食品に対する検査・指導件数 (単位: 件)

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
- (-)	- (-)	- (-)

() 内は、特定保健用食品再掲

カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表7- (1) -カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個 別		集団指導		
内容	延人員	内容	延回数	延参加者数
-	-	浦安市健康推進員定例会における「野菜 きのこ 海藻を使った時短レシピ集」を活用した野菜摂取促進の啓発	1	18
		商業施設を会場に実施した食育イベントにおける「野菜 きのこ 海藻を使った時短レシピ集」を活用した野菜摂取促進の啓発	1	660 (イベント参加者数)

(2) 給食施設指導

健康増進法等に基づき、管内特定給食施設等における栄養管理の実施を確保するために個別指導及び集団指導を実施した。

個別指導は、健康増進法に基づく指導に加え、介護老人保健施設には介護保険法に基づく実地指導を、病院には医療法に基づく立入検査を行った。

また、平成 30 年度の調査の結果、管内の民間保育所給食施設等では、約半数の施設で管理栄養士又は栄養士が 1 名配置であり、約 3 割の施設で栄養管理の主な担当者が 20 歳代であり、約 4 割の施設で担当者の業務経験が 5 年未満であることがわかったため、集団指導では保育所給食施設等に勤務する新任期の栄養管理担当者を対象とした研修会を開催した。

給食施設状況

表 7 - (2) 給食施設状況

(単位：件)

施設 総数	管理栄養士のみいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設			栄養士のみいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいない施設	管理栄養士必置指定施設		調理師のいる施設		調理師のいない施設	栄養成分表示施設	栄養教育実施施設
	施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数		施設数	管理栄養士数	施設数	調理師数			
265	81	101	50	107	82	100	136	34	7	50	221	635	42	262	218

ア 給食施設指導状況

表 7 - (2) - ア 給食施設指導状況

(単位：件)

区分	計	特定給食施設		その他の給食施設		
		1 回 300 食以上 又は 1 日 750 食以上	1 回 100 食以上 又は 1 日 250 食以上			
個別指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	133	43	59	31
		その他指導施設数	106	6	50	50
		喫食者への栄養・運動指導延人員	-	-	-	-
集団指導	給食管理指導	回数	-	3	3	3
		延施設数	272	25	146	101
	喫食者への	回数	-	-	-	-
	栄養運動指導	延人員	-	-	-	-

イ 給食施設個別巡回指導

表7-(2)-イ 給食施設個別巡回指導状況

	総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況								
			管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみ いる施設		どちらもいない 施設		
			施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	
合計	265	133	81	38	50	31	100	42	34	22	
指定 施設 ①	計	7	7	2	2	5	5				
	学校										
	病院	7	7	2	2	5	5				
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設										
	社会福祉施設										
	事業所										
	寄宿舎										
	矯正施設										
自衛隊											
一般給食センター											
その他											
300食 /回, 750食 /日以上 (指 定施 設① を除 く) ②	計	65	36	35	18	3	3	19	8	8	7
	学校	49	20	32	15			15	4	2	1
	病院	2	2			2	2				
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設										
	社会福祉施設										
	事業所	14	14	3	3	1	1	4	4	6	6
	寄宿舎										
	矯正施設										
自衛隊											
一般給食センター											
その他											
100食 /回, 250食 /日 以上 (① 、② を除 く)	計	116	59	28	10	28	17	44	22	16	10
	学校	5	2	2				2	2	1	
	病院	5	5			5	5				
	介護老人保健施設	10	7	2	1	8	6				
	老人福祉施設	13	5	5	1	8	4				
	児童福祉施設	61	22	14	4	6	2	33	11	8	5
	社会福祉施設	3	2	2	1			1	1		
	事業所	14	13	2	2			8	8	4	3
	寄宿舎	2	1							2	1
	矯正施設										
自衛隊											
一般給食センター											
その他	3	2	1	1	1				1	1	
その 他給 食施 設	計	77	31	16	8	14	6	37	12	10	5
	学校										
	病院	2	2	1	1	1	1				
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設	10	5	4	2	1	1	5	2		
	児童福祉施設	54	17	10	4	12	4	28	9	4	
	社会福祉施設										
	事業所	1	1					1	1		
	寄宿舎	2	1	1	1			1			
	矯正施設										
自衛隊											
一般給食センター											
その他	8	5					2		6	5	

※施設に出向き個別指導した件数を記入する。

※管理栄養士・栄養士配置施設の記入については、「衛生行政報告例記入要領」を参照すること。

ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導

表7-（2）-ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導（単位：件）

	給食施設開始（再開）	給食施設廃止（休止）	給食施設変更届
届出数	13	4	47
指導数	13	3	7

エ 給食施設集団指導

表7-（2）-エ 給食施設集団指導状況

名称	開催年月日	対象者	参加者数	内容
給食施設従事者研修会	令和元年 6月18日	給食施設の従事者等	149人 (内16人は届出施設外)	①講演「給食施設における衛生管理」講師 習志野健康福祉センター食品衛生監視員 ②講話「管内給食施設の栄養管理の状況」説明 市川健康福祉センター栄養指導員 ③情報提供 他
保育所給食施設等栄養管理担当者研修会	令和元年 10月1日	保育所給食施設の栄養士等	47人 (内1人は届出施設外)	①講義「保育所・こども園における栄養管理の基本」説明 市川健康福祉センター栄養指導員 ②グループワーク
給食施設栄養管理担当者研修会	令和元年 12月17日	給食施設の栄養管理担当者等	134人 (内3人は届出施設外)	講演「日本人の食事摂取基準（2020年版）の活用～数字の意味を考えよう～」 講師 淑徳大学看護栄養学部栄養学科 教授 渡邊智子氏

(3) 健康ちば協力店推進事業

表7-（3）-ア 健康ちば協力店登録状況

令和元年度登録件数			累計状況	
登録件数	変更件数	取消件数	登録累計数	実登録店舗数
-	-	9	150 (内取消59)	91

表7-（3）-イ 健康ちば協力店推進事業実施状況

区分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回数	延人員	回数	延店舗数	延人員	回数	延人員
個別指導	-	-	-	-	-	-	-
集団指導	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-

(4) 栄養関係団体等への育成・支援

表7- (4) 栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名 称	会員数及び加入組織数	活動内容	育成内容	延育成人員
市川保健所管内 栄養士会	150 人	地域住民の栄養改善に寄与する栄養士の育成等	会の事業（役員会、総会、研修会等）への支援・助言	185 人
市川保健所管内 調理師会	232 人	地域住民の栄養改善に寄与する調理師の育成等	会の事業（役員会、総会、研修会等）への支援・助言	76 人

(5) 市町村への技術・助言支援等

表7- (5) -ア 市町村への技術支援、助言

名 称	開催月日	対象者	参加者数	内 容
※「14 市町村支援」に掲載				

表7- (5) -イ 管内行政栄養士研究会等の開催状況

名 称	延回数	延参加人員	主な内容
管内栄養関係事業担当者業務連絡会（再掲）	1	6	表7-(1)-ウ のとおり

※ 市町村（在宅）栄養士研修会を含む

(6) 調理師試験及び免許関係

表7- (6) 調理師試験及び免許取扱状況 (単位：名)

年 度	調 理 師 試 験			免 許 交 付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
平成29年度	100	70	70.0	177	42	37
平成30年度	86	49	57.0	148	43	41
令和元年度	79	54	68.4	157	42	34

(7) その他

表7- (7) その他

名 称	日数	参加人員	主な内容
管理栄養士養成校 実習生受け入れ	合同講義1日 実習2日	7	健康づくり・栄養改善事業について

8 歯科保健事業

難病及び障害者等については、歯科保健の重要性を理解し実践することを目的として、不定期で事業を実施している。

市川市のむし歯予防大会を関係団体と共催で実施し、住民に対して歯の重要性の認識を高めるための活動を行った。

(1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業

表8－(1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業実施状況

名称	対象者	開催月日	内容	参加人員
実施なし	-	-	-	-

(2) その他（各保健所の独自事業）

表8－(2) その他（各保健所の独自事業）

名称	対象者	開催月日	内容	参加人員
第45回市川市むし歯予防大会	市民	令和元年 6月5日	市川市歯科医師会及び市川市教育委員会主催事業の共催（健歯児童・生徒及び歯科衛生作品にかかる賞状の交付等）	賞状交付 135枚

9 精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、保健所は精神保健福祉行政の第一線機関として位置付けられ、法律に基づく入院事務等の業務と併せ精神保健福祉相談員や保健師等による相談及び訪問をベースに専門性や広域での連携や調整が必要な事項について市町村、医療機関、障害福祉サービス事業所等の地域の支援機関と連携を図り受療援助、精神障害者の社会復帰支援、普及啓発など地域精神保健福祉活動を実施した。

(1) 管内精神科病院と入院等の状況

表9－(1)－ア 管内病床数・入院患者の状況（令和元年6月30日現在）

(単位:件)

区分 年度 市町村	管 内 人 口	精 神 科 病 院 数	病 床 数	人 口 万 対 病 床 数	入 県 内 病 院 患 者 へ の 数 の	人 口 万 対 入 院 患 者 数	管内の患者の入院先(再掲)					
							圏内の病院への入院患者数				圏外の病院への入院患者数	
							管内病院		管外病院			
							数	%	数	%	数	%
平成29年度	657,172	3	810	12.3	604	9.2	311	51.5	174	28.8	119	19.7
平成30年度	661,966	3	810	12.2	587	8.9	309	52.6	165	28.1	113	19.3
令和元年度	666,033	3	817	12.3	458	6.9	196	42.8	147	32.1	115	25.1
市川市	495,415	3	817	16.5	376	7.6	171	45.5	113	30.1	92	24.5
浦安市	170,618	0	0	0.0	82	4.8	25	30.5	34	41.5	23	28.0
県全体	6,277,952	52	12,363	19.7	8,514	13.6	5,307	62.3	975	11.5	2,253	26.5

(注) 1 人口は、各年7月1日現在。(千葉県毎月常住人口調査による)

表9－(1)－イ 管内病院からの届出等の状況

(単位:件)

種別 年度	医療保護入院届(家族等の同意)	応急入院届	医療保護入院届の退院届	措置症状消退届	措置入院定期病状報告書	医療保護入院定期病状報告	その他
平成29年度	725	8	732	42	9	280	13
平成30年度	617	6	612	48	10	296	10
令和元年度	607	5	625	52	4	301	6

※ その他は、転院許可申請6件、仮退院申請0件、再入院届0件の合計

(2) 措置入院関係

精神保健福祉法に基づき、必要に応じ精神保健指定医による診察を実施し、精神障害による自傷他害のおそれがあると診断された者については、指定病院まで移送し入院措置をする等、最優先的対応が求められている。

表9－(2)－ア 申請・通報・届出及び移送処理状況

処 理 申請通報等の別	申請・通報 届出件数	診察の必要 がないと認 めた者	法第27条の診察を受けた者			法第29条の2の診察を受けた者			法第29条の2の2の 移送業務		
			法第29条 該当症状 の者	その他 入院形態	通院・ その他	法第29条 の2該当症 状の者	その他 入院形態	通院・ その他	1次 移送	2次 移送	3次 移送
平成29年度	243	187	47	1	5	15	0	3	0	0	16
平成30年度	117	65	44	0	7	15	0	1	0	0	17
令和元年度	81	24	50	0	3	11	2	2	0	0	18
法第22条 一般人からの申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第23条 警察官からの通報	54	11	38	0	1	11	2	2	0	0	17
法第24条 検察官からの通報	13	0	11	0	2	0	0	0	0	0	0
法第25条 保護観察所の長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条 矯正施設の長からの通報	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の2 精神科病院管理者からの届出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の3 医療観察法に基づく指定医療 機関管理者及び保護観察所長 からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第27条第2項 申請通報に基づかない診察	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

(単位：件)

- ※1 「申請・通報・届出件数」は受理日で集計
 2 「法第29条の2該当症状の者」は、法第27条の診察を受けた者の内数
 3 1次・2次移送は、診察までの移送、3次は措置決定後の病院までの移送

表9－(2)－イ 措置診察を受けた対象者の病名

(単位：件)

病名 年度 結果	総 数	統 合 失 調 症 等	気 分 障 害	器質性 精神障害		中毒性 精神障害			神 経 症 性 障 害 等	パ ー ソ ナ リ テ ィ 障 害	知 的 障 害	て ん か ん	そ の 他 の 精 神 障 害	そ の 他
				認 知 症	そ の 他	ア ル コ ー ル	覚 せ い 剤	そ の 他						
				F0		F1								
				F2	F3	F00 ～ F03	F04 ～ F09	F10						
平成29年度	56	31	7	3	2	1	3	1	1	3	1	0	2	1
平成30年度	52	34	4	0	0	1	5	2	3	1	1	0	1	0
令和元年度	57	36	7	1	2	2	1	3	2	1	0	0	2	0
診察 実施	要措置	50	34	7	1	1	2	1	2	1	0	0	1	0
	不要措置	7	2	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1	0

- ※1 緊急措置診察を実施した結果、措置不要となった者 4名
 2 緊急措置入院中に措置解除措置解除となった者 0名
 3 その他には病名不詳を含む。
 4 F0～F9、G40は、世界保健機関（WHO）の国際疾病分類（ICD カテゴリー）の分類。

表9－(2)－ウ 管内病院における入院期間別措置入院患者数（各年3月31日現在）（単位：人）

入院期間 年度	総 数	6カ月未満	6カ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
平成29年度	11	8	2	1	0
平成30年度	10	8	0	2	0
令和元年度	7	7	0	0	0

表9－(2)－エ 申請・通報・届出関係の相談等（各年3月31日現在）

(単位：人)

性・年齢 区分	実 数	性			年 齢					延 回 数
		男	女	不 明	20歳 未満	20歳 ～ 39歳	40歳 ～ 64歳	65歳 以上	不 明	
相談	3	2	1	0	0	1	2	0	0	3
訪問	59	32	27	0	2	17	35	5	0	110
電話	77	43	34	0	8	20	43	6	0	1215

(3) 医療保護入院のための移送（法34条）

指定医の診察の結果、精神障害者であり、かつ直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図る上で著しく支障が認められるものの、本人の治療同意が得られない場合、その家族等のうちいずれかの者の同意がある時は、医療保護入院をさせるために知事の権限で応急入院指定病院に移送することができる。

表9－(3) 医療保護入院のための移送処理状況 (単位：件)

年度	区分	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
平成29年度		0	0	0
平成30年度		0	0	0
令和元年度		0	0	0

(4) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

精神保健福祉相談員や保健師等保健所職員による相談（面接・電話）、訪問援助を随時実施している。精神科嘱託医師による定例相談及び訪問指導は、月4回実施（うち1回は浦安市健康センターを会場として開催）しており、精神疾患とその治療や心の健康に関する相談等を受けている。

表9－(4)－ア 精神科嘱託医による定例相談

実施日	時間	場所
毎月 第1 火曜日	午後1時30分～午後3時30分	市川健康福祉センター (市川保健所)
毎月 第2 月曜日	午後1時30分～午後3時30分	
毎月 第3 火曜日	午後1時30分～午後3時30分	
毎月 第2 金曜日	午後1時30分～午後3時30分	浦安市健康センター

表9－(4)－イ 対象者の性・年齢 (単位：人)

区分	性・年齢	実数	性			年 齢					延回数
			男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
平成29年度		250	128	122	0	8	93	109	35	5	730
平成30年度		235	130	105	0	14	66	113	38	4	705
令和元年度		280	147	131	2	14	82	141	39	4	694
市川市		208	116	91	1	7	54	111	33	3	516
浦安市		54	28	26	0	7	18	23	6	0	145
管外・不明		18	3	14	1	0	10	7	0	1	33
相談		141	70	69	2	11	40	62	24	4	269
訪問		139	77	62	0	3	42	79	15	0	425

※1 同一人により相談を3回・訪問を2回した場合、相談実数1、訪問実数1、計2となり、延回数は5回となる。

2 電話相談は計上していない。

表9－(4)－ウ 電話・メール相談延件数 (単位：件)

区分	性	計	男性	女性	不明
電話		4681	2901	1777	3
メール		0	0	0	0

表9－(4)－エ 相談の種別 (延数) (単位：件)

区分	種別	総数	精神障害に関する相談				中毒性精神障害に関する相談			ギャンブルの相談	摂食障害の相談	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	てんかん	その他の相談
			関診する療科	社会復帰等	生活支援	その他の相談	アルコール	覚せい剤	その他の中毒							
平成29年度		730	499	40	78	40	19	2	4	0	0	2	12	19	4	11
平成30年度		705	407	36	118	19	28	1	2	0	7	10	16	55	0	4
令和元年度		694	451	6	83	28	23	6	0	2	0	8	17	68	0	2
相談	計	269	139	4	34	22	6	1	0	2	0	6	16	37	0	2
	男	142	85	2	18	5	5	1	0	2	0	4	7	13	0	0
	女	125	54	2	16	16	1	0	0	0	0	2	9	24	0	1
	不明	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
訪問	計	425	312	2	49	6	17	5	0	0	0	2	1	31	0	0
	男	278	200	2	34	4	16	5	0	0	0	0	0	17	0	0
	女	147	112	0	15	2	1	0	0	0	0	2	1	14	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表9－(4)－オ 援助の内容 (延数) (単位 件)

種別	総数	医学的指導	受療援助	生活生活指導支援	社会復帰援助	紹介・連絡	関係機関調整 方針協議	その他
平成29年度	1,188	82	247	88	30	275	416	50
平成30年度	1,151	80	103	169	13	207	432	147
令和元年度	1,074	77	93	176	13	222	427	66

(注) 援助内容は重複あり

表9－(4)－カ 精神障害者の退院後支援相談対応件数

	支援計画対象者			
	本人同意あり	会議開催数	計画に基づく支援者	
合 計	2	2	2	2
市川市	1	1	1	1
浦安市	1	1	1	1

(5) 精神障害者社会復帰関係

デイケアクラブに代えて、平成24年度から「早期医療つなぐサポート」を実施していたが、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業（委託事業）の開始に伴い、平成30年度をもって本事業は終了した。なお、継続ケースについては、他機関での対応を依頼及び引き続き保健所ケースとして対応することとした。

(6) 地域精神保健福祉関係

地域の精神保健福祉の円滑な推進を目指し、措置入院の適切な運用と協力体制維持のため管内の精神科医療機関、警察署と連絡会を開催した。また、家族会支援として家族会総会に出席した。平成30年度より開始された精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について委託先の側面的支援を行った。

表9－(6)－ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	開催日	参加人数	対象者等
「『措置入院の運用に関するガイドライン』に係る千葉県マニュアル」についての説明会及び連絡会	令和元年 11月29日	16	精神科医療機関、警察担当者等

表9－(6)－イ 家族教室・断酒教室・ボランティア講座・心の健康市民講座等

教室・講座等の名称	開催日	受講者数		内 容
		実件数	延件数	
-	-	-	-	-

表9－(6)－ウ 組織育成

(単位：件)

種別 区分	総 数	家族会	断酒会	その他 (当事者グループ)

(7) 心神喪失者等医療観察法関係

「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」で対象となる精神障害者に対し、医療機関・地域が連携して一体的なケアを提供するため、医療機関や保護観察所主催の処遇検討会議に参加し、地域においては訪問指導等の支援を実施している。

表9－(7) 医療観察法に係る会議への参加 (単位：件)

会議種別	CPA会議	ケア会議	その他
参加回数	5	6	0

- ・平成17年から医療観察法が施行されたことに伴い、健康福祉センター（保健所）においても各種会議への参加等が求められている。
- ・「その他」は、CPA会議(Care Programme Approach の略)とケア会議以外の会議に参加した者を計上している。

10 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度からインターフェロン治療、平成22年度から核酸アナログ製剤治療、平成23年度からインターフェロン3剤併用療法への医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充されたことに伴い、対象者が増加している状況である。

表10－(1) 肝炎治療特別促進事業受給者状況 (単位：人)

年度・市町村	治療 核酸アナログ 製剤	インターフェロン	インターフェロン フリー
平成29年度	262	1	131
平成30年度	272	1	98
令和1年度	263	-	71
市川市	218	-	55
浦安市	45	-	16

11 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B型・C型ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的として平成30年12月から助成が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。

表11－(1) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者状況 (単位：人)

年度・市町村	治療 肝がん	重度肝硬変	総数
平成30年度	-	-	-
令和1年度	-	-	-
市川市	-	-	-
浦安市	-	-	-

1 2 難病対策事業

原因不明で治療方法が確立していない特定疾患 56 疾患の患者に対し、医療費の自己負担を助成していたが、「難病の患者に対する医療等に関する法律」（難病法）に基づく医療費助成制度が平成 27 年 1 月 1 日に施行された。それに伴いスモン、難治性肝炎のうち劇症肝炎・重症急性膵炎・プリオン病、重症多形滲出性紅斑以外は指定難病に移行し、対象疾患は 110 疾患に拡充され、同年 7 月には 306 疾患に、平成 29 年 4 月には 330 疾患に、平成 30 年 4 月には 331 疾患に、令和元年 7 月に 333 疾患に拡大した。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門医による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

表 1 1 - (1) 特定疾患治療研究費受給者状況 (単位：件)

疾患名	年度・市町村別		平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	市川市	浦安市
	総 数		6 (-)	6 (-)	5 (-)	3 (-)	2 (-)
5 スモン		5 (-)	5 (-)	4 (-)	3 (-)	1 (-)	
32 重症急性膵炎		1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)	

表 1 1 - (2) 指定難病医療費助成制度受給者状況

(単位：件)

年 度・市町村別 疾 患 名	平成	平成	令和	市川市	浦安市
	29 年度	30 年度	1 年度		
総 数	4,143 (-)	3,803 (-)	4,022 (-)	3,022 (-)	1,000 (-)
1 球脊髄性筋萎縮症	9 (-)	7 (-)	6 (-)	4 (-)	2 (-)
2 筋萎縮性側索硬化症	46 (-)	46 (-)	53 (-)	46 (-)	7 (-)
3 脊髄性筋萎縮症	2 (-)	2 (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)
5 進行性核上性麻痺	29 (-)	31 (-)	31 (-)	23 (-)	8 (-)
6 パーキンソン病	588 (-)	542 (-)	556 (-)	399 (-)	157 (-)
7 大脳皮質基底核変性症	27 (-)	22 (-)	28 (-)	20 (-)	8 (-)
8 ハンチントン病	2 (-)	2 (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)
10 シャルコー・マリー・ トゥース病	1 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
11 重症筋無力症	90 (-)	89 (-)	96 (-)	69 (-)	27 (-)
13 多発性硬化症/視神経脊髄炎	88 (-)	82 (-)	87 (-)	68 (-)	19 (-)
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎/ 多巣性運動ニューロパチー	15 (-)	13 (-)	14 (-)	8 (-)	6 (-)
15 封入体筋炎	1 (-)	1 (-)	2 (-)	2 (-)	- (-)
17 多系統萎縮症	36 (-)	31 (-)	39 (-)	23 (-)	16 (-)
18 脊髄小脳変性症	112 (-)	103 (-)	100 (-)	76 (-)	24 (-)
19 ライソゾーム病	6 (-)	7 (-)	5 (-)	3 (-)	2 (-)
21 ミトコンドリア病	9 (-)	7 (-)	7 (-)	6 (-)	1 (-)
22 もやもや病	49 (-)	40 (-)	47 (-)	38 (-)	9 (-)

疾患名 下段：重症（内数）	年 度・市町村別				
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	市川市	浦安市
23 プリオン病	5 (-)	2 (-)	- (-)	- (-)	- (-)
26 HTLV-1 関連脊髄症	3 (-)	3 (-)	4 (-)	3 (-)	1 (-)
28 全身性アミロイドーシス	12 (-)	8 (-)	10 (-)	8 (-)	2 (-)
30 遠位型ミオパチー	1 (-)	- (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)
34 神経線維腫症	23 (-)	19 (-)	18 (-)	14 (-)	4 (-)
35 天疱瘡	15 (-)	13 (-)	10 (-)	9 (-)	1 (-)
37 膿疱性乾癬（汎発型）	3 (-)	2 (-)	4 (-)	3 (-)	1 (-)
38 スティーヴンス・ジョンソン 症候群	- (-)	1 (-)	2 (-)	2 (-)	- (-)
39 中毒性表皮壊死症	1 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
40 高安動脈炎	26 (-)	30 (-)	29 (-)	18 (-)	11 (-)
41 巨細胞性動脈炎	3 (-)	3 (-)	5 (-)	3 (-)	2 (-)
42 結節性多発動脈炎	20 (-)	16 (-)	13 (-)	13 (-)	- (-)
43 顕微鏡的多発血管炎	31 (-)	27 (-)	27 (-)	22 (-)	5 (-)
44 多発血管炎性肉芽腫症	7 (-)	6 (-)	7 (-)	4 (-)	3 (-)
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	12 (-)	13 (-)	16 (-)	11 (-)	5 (-)
46 悪性関節リウマチ	52 (-)	43 (-)	44 (-)	32 (-)	12 (-)
47 バージャー病	10 (-)	10 (-)	8 (-)	8 (-)	- (-)
49 全身性エリテマトーデス	302 (-)	297 (-)	313 (-)	226 (-)	87 (-)
50 皮膚筋炎/多発性筋炎	88 (-)	86 (-)	91 (-)	65 (-)	26 (-)

疾患名 下段：重症（内数）	年 度・市町村別				
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	市川市	浦安市
51 全身性強皮症	128 (-)	113 (-)	111 (-)	84 (-)	27 (-)
52 混合性結合組織病	40 (-)	38 (-)	39 (-)	24 (-)	15 (-)
53 シェーグレン症候群	54 (-)	52 (-)	56 (-)	43 (-)	13 (-)
54 成人スチル病	13 (-)	14 (-)	17 (-)	14 (-)	3 (-)
55 再発性多発軟骨炎症	4 (-)	4 (-)	2 (-)	0 (-)	2 (-)
56 ベーチェット病	61 (-)	56 (-)	57 (-)	43 (-)	14 (-)
57 特発性拡張型心筋症	85 (-)	83 (-)	78 (-)	66 (-)	12 (-)
58 肥大型心筋症	17 (-)	17 (-)	18 (-)	14 (-)	4 (-)
59 拘束型心筋症	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
60 再生不良性貧血	32 (-)	29 (-)	34 (-)	29 (-)	5 (-)
61 自己免疫性溶血性貧血	7 (-)	3 (-)	5 (-)	3 (-)	2 (-)
62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	5 (-)	4 (-)	4 (-)	4 (-)	- (-)
63 特発性血小板減少性紫斑病	85 (-)	76 (-)	82 (-)	66 (-)	16 (-)
64 血栓性血小板減少性紫斑病	1 (-)	1 (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)
65 原発性免疫不全症候群	10 (-)	11 (-)	9 (-)	6 (-)	3 (-)
66 IgA 腎症	59 (-)	52 (-)	48 (-)	34 (-)	14 (-)
67 多発性嚢胞腎	51 (-)	54 (-)	64 (-)	51 (-)	13 (-)
68 黄色靱帯骨化症	19 (-)	18 (-)	20 (-)	17 (-)	3 (-)
69 後縦靱帯骨化症	117 (-)	90 (-)	95 (-)	73 (-)	22 (-)

疾患名 下段：重症（内数）	年 度・市町村別				
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	市川市	浦安市
70 広範脊柱管狭窄症	12 (-)	10 (-)	11 (-)	8 (-)	3 (-)
71 特発性大腿骨頭壊死症	115 (-)	90 (-)	87 (-)	70 (-)	17 (-)
72 下垂体性 ADH 分泌異常症	13 (-)	13 (-)	14 (-)	13 (-)	1 (-)
74 下垂体性 PRL 分泌亢進症	2 (-)	2 (-)	4 (-)	2 (-)	2 (-)
75 クッシング病	2 (-)	2 (-)	3 (-)	3 (-)	- (-)
77 下垂体性成長ホルモン症 分泌亢進	17 (-)	19 (-)	19 (-)	13 (-)	6 (-)
78 下垂体前葉機能低下症	66 (-)	67 (-)	69 (-)	47 (-)	22 (-)
79 家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)	2 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
81 先天性副腎皮質酵素欠損症	4 (-)	3 (-)	3 (-)	2 (-)	1 (-)
83 アジソン病	2 (-)	2 (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)
84 サルコイドーシス	49 (-)	42 (-)	43 (-)	35 (-)	8 (-)
85 特発性間質性肺炎	81 (-)	70 (-)	89 (-)	64 (-)	25 (-)
86 肺動脈性肺高血圧症	18 (-)	15 (-)	15 (-)	14 (-)	1 (-)
88 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	22 (-)	21 (-)	22 (-)	19 (-)	3 (-)
89 リンパ脈管筋腫症	6 (-)	5 (-)	4 (-)	3 (-)	1 (-)
90 網膜色素変性症	134 (-)	131 (-)	132 (-)	103 (-)	29 (-)
92 特発性門脈圧亢進症	1 (-)	1 (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)
93 原発性胆汁性肝硬変	77 (-)	66 (-)	56 (-)	45 (-)	11 (-)
94 原発性硬化性胆管炎	4 (-)	2 (-)	3 (-)	3 (-)	- (-)

疾患名 下段：重症（内数）	年 度・市町村別				
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	市川市	浦安市
95 自己免疫性肝炎	10 (-)	10 (-)	11 (-)	8 (-)	3 (-)
96 クローン病	171 (-)	174 (-)	191 (-)	142 (-)	49 (-)
97 潰瘍性大腸炎	639 (-)	546 (-)	585 (-)	451 (-)	134 (-)
98 好酸球性消化管疾患	3 (-)	1 (-)	2 (-)	- (-)	2 (-)
99 慢性特発性偽性腸閉塞症	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)
107 若年性突発性関節炎	- (-)	- (-)	2 (-)	2 (-)	- (-)
111 先天性ミオパチー	- (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)
113 筋ジストロフィー	9 (-)	11 (-)	12 (-)	7 (-)	5 (-)
115 遺伝性周期性四肢麻痺	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
116 アトピー性脊椎炎	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)
117 脊髄空洞証	- (-)	0 (-)	2 (-)	2 (-)	- (-)
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う 常染色体優性脳動脈症	- (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)
127 前頭側頭葉変性症	5 (-)	6 (-)	7 (-)	7 (-)	- (-)
129 痙攣重積型（二相性）急性脳症	1 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉 てんかん	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
144 レノックス・ガストー症候群	1 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
145 ウエスト症候群	2 (-)	2 (-)	2 (-)	- (-)	2 (-)
153 難治頻回部分発作重積型 急性脳炎	- (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
157 スタージ・ウェーバー症候群	- (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)

疾患名 下段：重症（内数）	年 度・市町村別				
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	市川市	浦安市
158 結節性硬化症	3 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)
159 色素性乾皮症	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)
160 先天性魚鱗癬	1 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
162 類天疱瘡 (後天性表皮水疱症を含む。)	13 (-)	10 (-)	8 (-)	7 (-)	1 (-)
166 弾性繊維性仮性黄色腫	1 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
167 マルフアン症候群	7 (-)	6 (-)	5 (-)	4 (-)	1 (-)
171 ウィルソン病	2 (-)	4 (-)	4 (-)	4 (-)	- (-)
179 ウィリアムズ症候群	- (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
191 ウェルナー症候群	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
193 プラダー・ウィリ症候群	1 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
206 脆弱 X 症候群	2 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
208 修正大血管転移症	- (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)
209 完全大血管転位症	1 (-)	2 (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)
212 三尖弁閉鎖症	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
215 ファロー四徴症	3 (-)	1 (-)	2 (-)	- (-)	2 (-)
216 両大血管右室起始症	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
217 エプスタイン病	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)
220 急速進行性糸球体腎炎	3 (-)	3 (-)	3 (-)	1 (-)	2 (-)
221 抗糸球体基底膜腎炎	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)

疾 患 名 下段：重症（内数）	年 度・市町村別				
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	市川市	浦安市
222 一次性ネフローゼ症候群	31 (-)	31 (-)	44 (-)	30 (-)	14 (-)
223 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	3 (-)	2 (-)	4 (-)	3 (-)	1 (-)
224 紫斑病性腎炎	5 (-)	6 (-)	4 (-)	3 (-)	1 (-)
226 間質性膀胱炎（ハンナ型）	- (-)	- (-)	3 (-)	2 (-)	1 (-)
227 オスラー病	1 (-)	2 (-)	4 (-)	2 (-)	2 (-)
229 肺胞蛋白症 （自己免疫性又は先天性）	- (-)	- (-)	3 (-)	2 (-)	1 (-)
236 偽性副甲状腺機能低下症	2 (-)	2 (-)	2 (-)	2 (-)	- (-)
238 ビタミンD抵抗性くる病 /骨軟化症	2 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
240 フェニルケトン尿症	3 (-)	2 (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)
251 尿素サイクル異常症	2 (-)	2 (-)	3 (-)	2 (-)	1 (-)
266 家族性地中海熱	- (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)
271 強直性脊椎炎	7 (-)	8 (-)	12 (-)	10 (-)	2 (-)
276 軟骨無形成症	- (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)
281 クリッペル・トレノネー・ ウェーバー症候群	2	3	4 (-)	3	1
283 後天性赤芽球癆	2 (-)	1 (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)
285 ファンconi貧血	1 (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)
288 自己免疫性後天性凝固因子 欠乏症	- (-)	1 (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)
289 クロンカイト・カナダ症候群	- (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)

疾患名 下段：重症（内数）	年 度・市町村別				
	平成 29年度	平成 30年度	令和 1年度	市川市	浦安市
296 胆道閉鎖症	4 (-)	4 (-)	5 (-)	2 (-)	3 (-)
300 IgG4 関連疾患	10 (-)	10 (-)	17 (-)	13 (-)	4 (-)
301 黄斑ジストロフィー	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)
302 レーベル遺伝性視神経症	2 (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
306 好酸球性副鼻腔炎	42 (-)	44 (-)	47 (-)	29 (-)	18 (-)
326 大理石骨病	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
330 先天性気管狭窄症/ 先天性声門下狭窄症		1 (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)
331 特発性多中心性 キャッスルマン病		2 (-)	3 (-)	3 (-)	- (-)

() は、重症件数で内数

(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表 1 1 - (3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

(単位：人)

年度	総数	市川市	浦安市
平成 29 年度	28	20	8
平成 30 年度	24	16	8
令和 1 年度	30	19	11

(4) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表 1 2 - (4) - ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況 (単位：人)

区分 年度	支援計画 策定 実施件数	支援計画 評価 実施件数	構 成 員					
			専門医	家庭医	看護師	理学療法士	保健師	その他
平成 29 年度	9	9	3	—	5	3	9	67
平成 30 年度	9	9	1	2	14	3	9	55
令和元年度	5	2	4	1	11	5	5	35

イ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

表 1 2 - (4) - イ - (ア) 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人 数	回 数	実 人 員	延 人 員
平成 29 年度	0	0	0	0
平成 30 年度	0	0	0	0
令和元年度	0	0	0	0

(イ) 訪問相談員育成事業

表 1 2 - (4) - イ - (イ) 訪問相談員育成事業実施状況

区分 年度	月 日	主 な 内 容	職 種	人 数
平成 29 年度	平成 30 年 1 月 18 日	講演会 「進行する病気の中で揺らぐ『こころ』～支援者として、向き合うときに大事にしたいこと～」 講師：つばさ訪問看護ステーション 所長 矢吹 智美 氏	訪問看護師 ・ケアマネ ・行政	64 人
平成 30 年度	平成 30 年 12 月 20 日	講演会 「難病患者の病院から在宅ケアまで～ALSを中心に～」 講師：吉野内科・神経内科医院 理学療法士 浅川 孝司氏	訪問看護師 ・ケアマネ ・行政	35 人
令和元年度	令和 2 年 2 月 21 日	研修会 1) 講演 「在宅人工呼吸器使用者の災害時個別支援計画」 講師：東京都医学総合研究所 難病ケア看護 主席 研究員 小倉朗子氏 2) 情報提供 「台風 15 号における在宅人工呼吸器使用者の実際」 講師：日本 ALS 協会 千葉県支部 事務局長 大山孝二氏 3) グループワーク（各機関の取組等）	訪問看護師 ・ケアマネ ・行政	13 人

ウ 医療相談事業

表12-(4)-ウ 医療相談事業実施状況

実施日	参加人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事者人数
令和元年 9月28日	55	順天堂大学 医学部附属 浦安病院	パーキンソン病	1) 講演「パーキンソン病治療のポイント～治療をはじめのあなたへ～」 講師：順天堂大学医学部附属浦安病院 脳神経内科 志村 秀樹 氏 2) 講話・実技： 「日常生活の中でできる・いかせるリハビリテーション～一緒にからだを動かそう～」 講師：順天堂大学医学部附属浦安病院 理学療法士 3) 質疑応答・交流会	3

エ 訪問指導事業

表12-(4)-エ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位：件)

疾患名	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総数	13	24	29
筋萎縮性側索硬化症	12	21	22
多系統萎縮症	1	2	2
その他		1	5

オ 訪問診療等事業

表12-(4)-オ 訪問診療等事業実施状況 (単位：人)

区分 年度	指導人数		実施方法	従事者人数					
	実人員	延人員		専門医	主治医	看護師	理学療法士等	保健師	その他
平成29年度									
平成30年度									
令和元年度	1	1	訪問リハビリ				1	1	

(注) 訪問リハビリテーションも含む。

カ 窓口相談事業

表12-(4) -カ 相談内容

(単位：人)

内 容	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
相 談 者 数 (延)	125	122	54
申 請 等	67	72	23
医 療	15	10	11
家 庭 看 護	2	4	5
福 祉 制 度	9	7	4
就 労	1	1	
就 学			
食 事 ・ 栄 養		5	
歯 科			
そ の 他	31	23	30

13 受動喫煙対策

健康増進法により、令和元年7月1日に子どもや患者等が主な利用者となる施設は原則敷地内禁煙となった。また、令和2年4月1日から多くの人を利用する全ての施設において原則屋内禁煙となる。施設からの問合せや県民からの苦情等に基づく助言・指導等を行うとともに、指導によって改善が認められない場合等必要に応じて立入検査を実施する。

表13-(1)-ア 問合せ・苦情届出状況

区分 年度	件 数	内 訳				
		第一種 施設	第二種 施設	喫煙目的 施設	旅客運送 事業	規制対象外
令和元年度	57	2	54	0	0	1

表13-(1)-イ 立入検査状況

区分 年度	件 数	内 訳				
		第一種 施設	第二種 施設	喫煙目的 施設	旅客運送 事業	規制対象外
令和元年度	-	-	-	-	-	-

1 4 市町村支援

広域的な視点から、市事業の円滑な推進と向上が図られるよう会議等に参加した。

(1) 市町村への支援状況

表 1 4 - (1) 市町村への支援状況

項目 市町村	会 議 ・ 連 絡				技 術 的 支 援		
	会 議 名	回 数	職 種	主 な テ ー マ	事 業 名	回 数	職 種
市 川 市	市川市食生活改善 推進員感謝状贈 呈・委嘱状交付式	1	医 課 栄	委嘱式 保健所業務についての 説明			
	市川市食育関係機 関連絡会	2	課	市食育推進計画の説明 各機関の事業実績及び 計画の報告			
	市川市自殺対策関 係機関連絡会	1	課	市の自殺の現状と計画 について			
	市川市自立支援協 議会	2	精	地域の障害者等への支 援体制の整備に関する 協議			
	市川市基幹相談支 援センター運営協 議会	2	精	基幹相談支援センター に関する協議、事業実 績の検証等			
	個別支援会議	23	精	処遇検討会議			
浦 安 市	健康うらやす 21 第 2 次推進検討委員会	1	医	健康うらやす 21 計画の 進捗管理			
	浦安市学校給食セ ンター運営会議	2	栄	学校給食センターの運 営についての報告と意 見交換			
	浦安市いのちとこ ころの支援対策協 議会	3	課	市の自殺の現状と対策 について			
	個別支援会議	6	精	処遇検討会議			

*職種：医（所長）、次（次長）、課（課長）、保（保健師）、栄（栄養士）、精（精神保健福祉相談員）、事（一般行政）